

いじめはいけない。
自殺はいけない。
やる勇気も、
持たなきゃいけない。

「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第72号

令和4年7月11日

道徳授業地区公開講座

7月9日（土）、本校では、道徳授業地区公開講座・学校公開がありました。当日、ご参観等頂戴した保護者・地域の皆様にも熱く感謝申し上げます。残念ながら、都合等合わず参観できなかったにも場合もあると思いますが、次回の機会等においてお子様の様子等をご確認いただくと幸いです。

本公開講座の目的は、道徳科の授業を通して、子どもの豊かな心を育むとともに、道徳教育の在り方と連携について、学校・家庭・地域が共有することにあります。講座当日の日程については、第2校時の公開講座を挟んで第1校時と第3校時に、各学級で道徳科の参観授業を行いました。当日の公開授業テーマに掲げたのが、「いじめ」です。オンライン上で行われるいじめやリアルな人間関係から生じるいじめ等、教科書を活用して展開いたしました。東京都では、いじめに関する授業は年3回以上実施することとなっています。この「いじめ」の対応等については、いじめ防止対策推進法が平成25年に施行されていますが、いじめが法に基づいて対応せざるを得ないほど深刻化していたことも、道徳が教科化された理由の一つでした。いじめの早期発見・早期対応及び未然防止には、子どもたち自身が自分と他の人の違いを理解し、立場を考えて行動できる自律的・協働的な態度を取る能力が求められると思います。このことを教科書を使って、意図的・計画的に教え、考えることを通して、子どもにその力は身に付き、育っていくものです。当日の公開授業で、教科書の読み物教材からその場面を共有した子どもたちは、自分で考え、他者と協議し、自分の考えを深めていたのでしょうか。当然のことながら、1年生や6年生など成長に合わせて見られる姿は違いますので、少しずつつかかもしれませんが、文字でも音声でも、絵でも図でも、自分の考えを表現できるよう、指導してまいります。

また、第2校時の公開講座は、東京都教育委員会の指導資料「意見交換会ビデオ」を活用し、「子どもの豊かな心を育むために大人たちにできることを考える」ことテーマにして、意見交換会を行いました。約60人の保護者・地域の方の参加をいただきました。誠にありがとうございます。講師兼進行としてお願いしたのは、北区立王子第一小学校主幹教諭の渡邊 淳子 先生でした。大田区教育委員会が採択している道徳科の教科書の執筆者であり、道徳授業の多くの実践者でもある渡邊先生から、道徳科の教科化の経緯、家庭内における子どものスマートフォン等端末の管理・指導等についてお話をいただきました。スマートフォン等の使い方についても各家庭での考え方が異なる状況を、教科書を使うことで、場面や条件を揃えることにつながり、子どもたちは道徳的価値を共有できることにつながるというお話をいただきました。意見交換会では、保護者や地域の方が小グループに分かれ、話し合いを行いました。「子どものライン内容を勝手に見ているのかな。」とプライバシーを視点を悩む保護者、「親だから、当然、全部確認します。」という保護者、たくさんの意見が出て、共有いたしました。私からも、中学年のあるクラスで子どもたちに聞いてみた話をいたしました。クラスの四分の3に当たる人数がスマホ又はキッズ携帯を持っていることを伝えると、「えっ、そんなに？」と驚く保護者の方が多かったです。今回の意見交換は、何かを解決するというものではありませんでしたが、こうして意見交換をすることができたことは、何だかコロナ禍でできなかった、教育として重要なことが、少しずつ戻ってきたような気もして、よかったですと思いました。今後も、学校・家庭・地域の絆を確認できる公開講座の充実を考えてまいります。



意見交換会



6年生「SOSの出し方」